

弘濟寺 かわら版

第103号

令和5年8月11日発行

弘濟寺 玉野千永 編集

弘西寺 131 0465-74-1717

弘濟密寺 検索

第25回弘濟寺地蔵まつり

7月23日、晴天に恵まれ、お地蔵さんの開眼供養を新調して頂いた大般若經の転読法要をもって、盛大に執り行うことができました。盛夏の中ではありませんでしたが、大変多くの方々に、足をお運びいただき心より感謝申し上げます。お陰様で、準備から片付けまで、無事終了することができました。皆様のご理解ご協力、ご寄付を賜り有難うございました。

今年のかわら版お正月号より3回にわたり、特集してまいりました大般若經。三蔵法師が17年の歳月をかけて持ち帰った經典が日本に伝わり、京都の貝葉書院さんにより最後の手摺り木版印刷で摺られた經本が弘濟寺に納められました。

参拝のみなさまは、十二支の守り本尊様の前にお一人ずつ座っていただき、眼の前で、僧侶による宙に舞う經典にて除災与樂をお祈りいただきました。「こんな法要は初めて見ました。」「貴重な大般若のお加持を頂戴し、感動いたしました。」「目の前でパラパラと經本を読むお姿は凄い迫力でした。」「ごどもたちにもそれぞれ丁寧に祈禱いただき、みんな喜んでおりました。」など感想もお寄せいただき、参拝された皆さん各人に **般若の梵風**~が届いたようです。



見ごたえのある本堂に入る前に唱える声明（庭讃）
善の綱（五色布）が青空に映えます♡



大迫力の大般若転読 12人の僧侶たち（十二支）



本堂前に
移動した回向柱

さて、本堂前に建てられた回向柱をご覧になりましたか？読み方は「えこうばしら」と読みます。回向柱を建てるのは、仏様と参拝者を繋ぐ意味があります。柱には善の綱と呼ばれる5色の布が巻かれその布は本堂へ、そして室内では、紐に代わり、さらに細かい糸になって、お地蔵さんの右手人差し指とつながっています。ですから、回向柱に触れることで、お地蔵さんと縁を結ぶことができるというわけです。では、その回向柱には何が書かれているのでしょうか？

そこには

【この柱は、令和五年七月二十三日、修復されたお地蔵さんの開眼を大般若転読法要をもってお祝いした印の塔です。世の中が平和で、五穀が豊作となり、疫病が立ち去り、すべての人々が豊かで楽しく暮らせますようにお祈りいたしました。さらに、開眼供養の功德の力で私たちに向けられた仏様の力を、**回**りの皆さまに振り**向**けてすべての人が等しく幸せでありますように】

との願いが書かれています。

回向柱とお地蔵さんを繋ぐ「善の綱」は取り外されておりますが、どなたでも回向柱に触れることができるよう、本堂前に移設しました。弘濟寺参拝の折にはぜひ触れてください。



当日の法要の様子が
YouTubeで↑
配信されています。
どうぞご覧ください。
撮影：中島様

JIZO NIGHT

寺カル〜



笑顔が素敵な陽人さん

住職と副住職のみで開催してきた静かな3年間の地蔵まつりは、夜の部も中止でした。今年4年ぶりに開催できたJIZO NIGHTには、大勢の方が集ってくださり、とてもにぎやかに、たくさんの笑顔が戻りました。今年のゲストは神戸市須磨区にある

大本山 須磨寺の若き副住職 **小池陽人さん**。YouTube で法話を配信したり、音楽法要祭「須磨野音」、若手僧侶たちが法話の巧みさを競う「H1法話グランプリ」の開催など、これまでにない新たな試みを続けていらっしやいます。そんな超有名な陽人さんが、法要では迫力ある太鼓を叩いてくださいました。みなさんの魂に響いたのではないのでしょうか？

さあ、お待ちかねの法話の時間です。みなさんの目がキラキラになりました。実際に体験された、タクシー運転手さんのちょっとイラッと、でも笑えるお話が始まった途端にお客様は、陽人さんワールドに引き込まれ、私たちにもあるあるなお話に頷き、共感し、正直イライラの最高潮に達したとき、さあ、どうすればいいのですか？



法要終了後 今回の事業に際しまして、ご寄進を頂いた多くの皆様を代表して、総代の笠間 正さま、修復に携わった三乗堂様、本堂改修工事を請け負った岩木建築さまへ、住職より感謝状と記念品が贈呈されました。ありがとうございました。

真

あわてない
あわてない

永

ひと休み
ひと休み

雨

法

アニメ『一休さん』の台詞

いくら苦行をしても悟りは開けません。お釈迦様も言っていましたよね

「人生は一切皆苦」なんですね。と、教えていただきました。人は生まれながらに全てが苦(思い通りにならない)というお釈迦様のお言葉が、す〜っと身体に入ってきて納得いたしました。これからの生活の中で思い通りにいかない事が起きた時には、「一切皆苦、一切皆苦」と唱えながら、向き合っていきたいと思います。陽人さんの法話の後はおなじみ住職ひきいるGLKバンド & 香住より金髪？お坊さんギタリストを特別ゲストに迎えてのライブで今年の地蔵まつりの幕を閉じました。第25回地蔵まつりが、無事に開催できましたこと、役員の皆様をはじめ、有限会社 勝又様、田中工務店様、携わってくださった全ての方々に感謝申し上げます。

レストラン マジェール

★法事用特別コース
4,000円
4名様より(個室完備)

☎82-0335

開成町宮台 63(シャトレーゼ向い)



有限会社 勝又

南足柄市飯沢 12-10

☎(0465) 74-2306

ご贈答品のご用命は

足柄ハリカ

南足柄市飯沢 51-4 火曜定休日

TEL (0465) 74-5221